



BikeBros.プレゼント

RIDING Dr. 皆木のバイクプロス

BikeBros. Riding School



こんにちは、ライディング
Dr.皆木です(^^)/

こんにちは! ライディングDr.ミナキです(^^)/

皆さん元気にバイクに乗っていますか!? バイク乗りにとって一番気持ちのいい季節の到来です。どんどん走って上手くなっちゃいましょう(*^^)/

今回のバイクプロススクールのテーマは『バイクの向き変えはこうやろう!』でした。『向き変え』という言葉からは何か特別な方法があるかのような印象を受けますがさあどうなのでしょう!?

今までたくさんのライダーを見てきて、

「向きを上手く変える」その必要条件是「バンク角をちゃんと取れるかどうか...」まずはこれに尽きます! タイヤの端を2cm以上も残っていて上手く向きを変える事は難しいでしょう。では必要条件を満たしバンク角が「深ければ深いほど」上手く向きが変えられるのでしょうか? これもNO! です。じゃあどっちがマシなかって? ...う〜んどっちも怖いかな~(人_人:)



ここでライダーを二つの症状のグループに分けてみましょう(^^)/

症状1 「コーナーを走ってもタイヤの端が2cm以上残ることが多い」ライダー

《考えられる原因①》コーナーのR(半径)に対してバンク角を維持できるスピードでコーナーに進入出来ていない。

《治療法》反復練習による「慣れ」と「確認」。

《慣れ》人はそれぞれ持って生まれた「スピード感覚」があります。例えば100kmのスピードを怖いと感じる人とそうでない人がいるということです。この感性はトレーニング(慣れ)によって変わります。サーキットの周回で慣れていきましょう。

《確認》サーキットでの周回によって「このくらいのコーナー」なら「このくらいのスピード」で行けば飛び出さないという確認作業を繰り返す(周回)事によって怖さが消え、コーナーに対しての正確なスピード感覚が出来ます。バイクの運転ではこの「このくらい感」がとても大切です。

《考えられる原因②》車体がバンクして行く過程でフロントタイヤが上手く(自然に)イン側に切れ込んでくれないため安定したバンク角の維持(移行)が出来ない。

《治療法》反復練習による「気づき」と「習得」。

《気づき》サーキットを周回することで上半身(特に腕)に力が入っている事に気が付いてもらう。コーナーがいつも同じなので自分のライディングを観察する余裕が出来ます。ステアリングが自然にきれいとする動きを内側の腕を突っ張る事で邪魔していませんか? (人_人:)

《習得》ステアリング(フロントタイヤ)が切れてくるのは、倒れて行く車体にバイクが自らバランスしようとしている状態です。(もし切れないと本当に倒れそうになります)この状態を理解して慣れて行けばスムーズなバンクングを習得できます。スクールメニューでの「ミニバイクでのヒザすり体験」がとても有効です。

症状2 「バンク角がいつまでも深い」ライダー

《考えられる原因①》進入でのスピードが速すぎる事でバンクするまでに距離が長くなってしまい、小さく向きを変えることが出来ていない。

《治療法》サーキットを周回する事で、スピードを素早く落としコーナー前半の早い段階でバンク角を深くするタイミングやラインを覚えましょう。

《考えられる原因②》向きが変わりきっていないのにアクセルを開けるので、出口でふくらんでしまいバンク角を浅く出来ない。

《治療法》サーキットコーナーのイン側はとてもきれいに清掃されています。クリッピングポイント(一番インによるポイント)を「かすめる」のではなく「沿う」感覚を覚えましょう。そうすれば公道でも向きをしっかりと変えてバイクを起こしながらワイドにアクセルを開けられるようになるでしょう。

速くはないけどスムーズで綺麗...。こんなライダーが安全でカッコいいライダーですよ(^^)/。皆さんもサーキットスクールでそんなカッコいいライダーを目指してみてください!

申込 & お問い合わせ

(※事前のお電話での御予約と申込書が必要になります)

【HSR九州】「BikeBros.ライディングスクール」係 〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川1500
TEL:096-293-1370 URL: <http://www.hsr.jp/>

【RSG】「BikeBros.ライディングスクール」係 〒811-1242 福岡県筑紫郡那珂川町西隈4-9-5
TEL:092-951-2299 URL: <http://rsg-sports.com/>

